



勝浦市太極拳サークル

新規会員随時募集

美心会だより

勝浦市文化祭 どうプロデュース

これから夏本番を迎えようとしているこの時期に、野口会長の口から出たのは、「今年の勝浦市文化祭の内容を考えて下さい」だった。

昨年の文化祭後、会員にアンケート調査をしたところ、「内容についてもっと検討し充実を図っては・・・」と建設的な意見が寄せられた。

そこで、会員の皆さんが舞台発表のプロデューサーになったつもりで、名案を出してもらうことにしたのだ。昨年までは、すべて会長に一任だったが、毎年演出を考えるのは苦しい作業だ。

舞台の発表時間は1団体、入退場を含めて15分間。

ちなみに昨年の内容は、「座ってもできる太極拳・簡化太極拳24式」「八段錦・毛細血管再生法」「楊式太極拳88式・短縮バージョン」であった。



座ってもできる太極拳・簡化太極拳24式の演武



八段錦・毛細血管再生法を紹介

表演は、入場時間20秒、退場時間20秒を除いた14分20秒で行わなければならない。

前回までの基本方針は、「全員が参加できるものをひとつ計画する。」それ以外はアイデア次第。

考慮しなければならない事項は次のとおり。

- ①演武名と人員配置に所要時間
- ②いくつ演武をするか？
- ③観客にアピールする演出
- ④演武のリーダー、音楽、マイク（ワイアレスマイク又はピンマイク）照明の使い方等である。

これらをメモにして記名の上、会長まで提出してもらえると斬新な発表が出来るものと思われる。グループで相談も可。計画を実行する上で一番困るのは、練習を積み重ねた後、発表間近や発表当日の参加キャンセル（いわゆるドタキャン）である。その都度、立ち位置が変更になり、度重なりと大きな混乱を招いてしまう。昨年、発表会当日 Mさんは、旦那さんが緊急入院そく手術という非常事態にやむなくキャンセル。このような緊急事態は誰が考えても致し方ない事情だ。また、発表会当日の朝「ギックリ腰」になりながらも激痛をこらえて参加した Oさん、帰宅後動けなくなってしまったそうだ。プロデューサーとしては、気の毒ながらも非常にありがたかった出来事であった。

例年、発表会の練習は8月中旬から始めているので考える時間は7月中と意外と短い。

成増サークルフェス 特別参加



6月11日(日)成増サークルフェスティバルが開催され、

本会から門屋さんが特別参加した。これは、成増社会教育会館を利用して活動している団体の発表会。

当日は、バンド演奏、吟舞、ヒップホップダンス、コーラスなどが披露された。